



議会だより



(議会と町民のおしゃべりナイト)

●令和8年第2回定例会・第3回及び第4回臨時会

もくじ

特集：議会と町民のおしゃべりナイト	・・・	P 2
審議された議案と結果		P 3
一般質問		P 5
議案の審議要旨		P 8
第3回臨時会		P 10
第4回臨時会		P 11
総務常任委員会		P 12
議会の動き		P 14
編集後記		P 14

第199号

令和8年8月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

議会と町民のおしゃべりナイト



6月1日、おしゃべり回覧板の呼びかけなどで集まった町民 14 名と議員8名が、本町や議会の課題などについて意見交換を行いました。

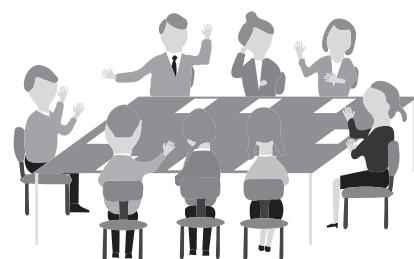
性別、職業、世代も多様な方々が集まってくださり、2グループに分かれて、意見交換しました。

多くの方が、喜茂別町の景観、立地、人間関係、歴史、中山峠などに魅力を感じているようでした。

一方で、世帯向け住宅や土地を探すのが大変で、他町村へ移住せざるを得ない状況や、町外に出ていった若者が戻ってきたくなるような働く場所が少ない、農家の後継者不足、子育て環境など、多くの課題も改めて確認されましたので、今後の議会活動に活かしていきます。

来年、町議会議員選挙が開催されますが、なり手不足も深刻な課題です。小学生や中学生が議会に関わるようなイベントや、お酒を飲みながら意見交換できる居酒屋議会など、議会に住民がもっと接する機会を広げるアイデアなども出ました。

多くの方が活発に発言しており、また開催してほしいという意見もありましたので、今後もこのような機会などを作っていこうと思います。



令和8年第2回定例会（6月16日）

<行政報告>

喜茂別町地域防災計画の修正に伴う公表について

<一般質問>

ナフサ不足による影響と本町の対応について	本久議員	5 ページ
新たな防災気象情報の運用と町民の対応について	岩部議員	6 ページ
解体後の町営住宅跡地の今後の取り扱いについて	山下議員	7 ページ

<報告>

令和7年度喜茂別町一般会計繰越明許費繰越計算書について	物価等高騰対策事業 143万6000円	報告済み	
-----------------------------	---------------------	------	--

<人事>

監査委員の選任 (任期：令和8年8月1日 ～令和12年7月31日)	酒井 和一さん	原案同意	
農業委員の任命 (任期：令和8年7月20日 ～令和11年7月19日)	坂爪 洋介さん 渡辺 雄一さん 前田 昌明さん 鷹羽 徹也さん 井内 寿一さん 小出浩一郎さん 行天 雄也さん 齊藤 信一さん 酒井 英子さん	原案同意	質問あり 8 ページ

<条例改正>

喜茂別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例	主食の給食費を月額一人当たり1890円から800円に改正	原案可決	質問あり 8 ページ
喜茂別町子ども医療費助成条例及び喜茂別町重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例	助成対象を「15歳まで」から「18歳まで」に引き上げ、「受給者証」を「受給者証等」に改正	原案可決	質問あり 8 ページ

<令和8年度補正予算>

一般会計（第2回）	夏祭り実行委員会補助金、町立診療所支援事業補助金、ヒートポンプ機器交換工事、役場庁舎空調設備交換工事など3775万3000円増額	原案可決	質問あり 9 ページ
-----------	--	------	---------------

<工事請負契約の締結>

一二三橋橋梁補修工事	契約金額：4950万円 契約相手方：後志建設工業株式会社 契約の方法：7社による指名競争入札	原案可決	
------------	--	------	--

<関係行政庁等への意見書提出>

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	請願者 全道林活議連連絡会 会長 三好 雅 提出者 山下 純 賛成者 越後宏明 岩部 剛 提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等	原案可決	
外国人への生活保護制度の法的根拠の明確化及び相互主義の導入を求める意見書	提案者 喜茂別町議会議員 本久哲士 提出者 本久哲士 賛成者 小川泰樹 越後宏明 提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等	原案可決	
地方財政の充実・強化に関する意見書	請願者 自治労喜茂別町職員労働組合 執行委員長 井手 湊 提出者 菊地光男 賛成者 小川泰樹 越後宏明 提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等	原案可決	

令和8年第3回臨時会（4月24日）

＜令和7年度補正予算＞

一般会計（第10回）（専決処分）	臨時道路除雪事業補助金の交付、防災・安全交付金の追加配分など2316万6000円増額	原案承認	
------------------	--	------	--

＜条例改正＞

町税条例	軽自動車税環境性能割が廃止されたことに伴い「種別割」を「軽自動車税」に改正など	原案可決	
国民健康保険税条例	喜茂別町国民健康保険税の医療分の限度額を引き上げる改正など	原案可決	

＜財産の取得＞

給食運搬車	取得金額：1109万980円 契約相手：北海道日野自動車株式会社小樽支店	原案可決	質問あり 10ページ
総合行政システムサーバ機器、ネットワーク機器	取得金額：5124万9000円 契約相手：株式会社 テクノラボ	原案可決	質問あり 10ページ

＜令和8年度補正予算＞

一般会計（第1回）	農業関係補助事業の採択による補助金の計上、会計年度任用職員の給与費など1701万3000円増額	原案可決	質問あり 11ページ
-----------	---	------	---------------

令和8年第4回臨時会（6月29日）

＜工事請負契約の締結＞

有害鳥獣食肉加工処理施設建築 主体工事	契約金額：7403万円 契約相手方：日野浦建設株式会社 契約の方法：7社による指名競争入札	原案可決	
------------------------	---	------	--

＜工事請負契約の締結＞

一般会計（第3回）	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付に伴う補正、産地生産基盤パワーアップ事業の採択による補正など7220万2000円増額	原案可決	質問あり 11ページ
-----------	--	------	---------------

一般質問 要旨

※一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に質問し、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

ナフサ不足による影響と
本町の対応は

町長 関係機関・施設との情報共有を
継続しながら、適切に対応



本久議員

現在、中東情勢は極めて不安定な状況にあり、原油価格や原材料価格の高騰も続いており、プラスチック製品の原料となるナフサの供給不足が各方面で報じられている。
ナフサは、プラスチック製品、塗料、接着剤、医療用資材、包装資材など、日常生活や産業活動を支える幅広い製品の原料であり、その影響は非常に広範囲に及ぶものと考える。



▲指定ごみ袋

国内の石油化学製品の生産体制についても厳しい状況が報じられており、今後の情勢によっては、本町においても医療福祉分野、教育分野、公共工事、さらには住民生活に密接に関わる製品など、様々な分野へ影響が及ぶ可能性がある。
こうした状況を踏まえ、ナフサの供給不足が本町にどのような影響を及ぼす可能性があるかと認識しているのか。
また、住民生活への影響が生じた場合、本町としてどのように対応していく考えなのか、町長の見解を伺う。

林町長

ごみ袋の在庫は、昨年度実績ベースで年内に不足が生じる可能性がある。
買いだめを防止するため、必要となれば一時的な購入制限などの対策を行う必要がある。また、仕入れ価格の増額が予想されるため、予算を確保し、在庫不足が生じないように対応していく。
他の市町村では半透明のごみ袋を代用しているところもあり、本町では燃やせないごみ袋に在庫があるため、一時的に代用するなど、町民が混乱せずごみ出しを行える方法も検討していく。
医療・介護現場では、使い捨て手袋類の供給懸念が全国的に指摘されている。
町内の関係施設及び事業者に聞き取りを行ったところ、本町を含む地方では現時点での影響は極めて限定的で、診療・施設運営・調剤業務に直ちに深刻な支障はないとのことである。
農業関係では、ビニールハウス等の資材は不足していないが値上げされており、価格は都度確認が必要である。
肥料は不足していないが、来年以降、ホクレン取り扱い主要肥料11品目の値上がりが見込まれている。
燃料関係では、納期遅延が発生しており、アドブルー（※）は容器不足で納期遅延が発生している。
今後は、国の動向を注視するとともに、関係機関・施設との情報共有を継続し、適切に対応していきたいと考えている。

※クリーンディーゼル車専用の高品位尿素水

災害時に町民がとるべき行動は

町長

警戒レベルを確認し
円滑な避難行動を



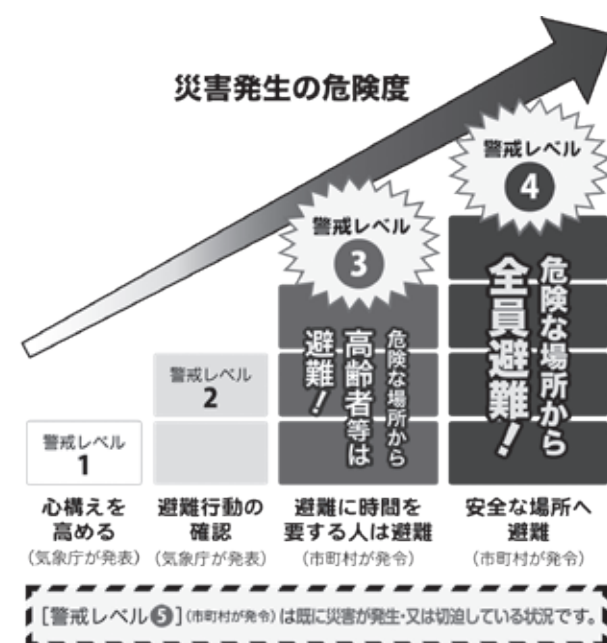
いわべ つよし
岩部 剛 議員

岩部議員

気象庁では5月29日から新たな防災気象情報が運用されている。

災害発生時には河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮の情報を警戒レベルの数字をつけて発表されるとのことだが、災害時の町の対応はどのように変わるのか。

また、災害情報が出された時の町民が取るべき行動はどのようなものを伺う。



▲政府広報オンラインより引用

次の定例会は
9月下旬を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217)で確認ください。

林町長

大雨警報などの防災気象情報と、とるべき避難行動の関係を分かりやすくし、大雨等の際の防災行動の判断を一層しやすくするために変更が行われた。

災害時の町の対応では、高齢者等避難や避難指示などの避難情報については、気象庁から発表される気象情報はもちろんのこと、関係機関の協力を得ながら、降雨や水位等の状況等を参考にし、発令する考えである。

また、防災気象情報が発表されたときの住民がとるべき行動については、

- レベル1 早期注意報においては、災害への心構えを一段高めること。
- レベル2 注意報においては、ハザードマップ等で災害リスクを再確認すること。
- レベル3 警報では、避難に時間を要する高齢者等は危険な場所から避難すること。
- レベル4 危険警報では、危険な場所から全員避難すること。
- レベル5 特別警報では、今いる場所より安全な場所へ直ちに移動することになり、極めて重要となる。

町営住宅跡地を子育て世帯に

町長

適宜判断していく



やました じゅん
山下 純 議員

山下議員

6月1日に、議会と住民との懇談会が開催された。

その中では、やはり空いている家や土地がない、あってもすぐに外国人に買われてしまうという話になり、他の自治体に転出を検討している子育て世帯もいるとのことであった。

一方、近年では南幌町で土地が安く買えるということで、子育て世帯が殺到し、2年連続日本人の人口増加率が全国一位となった。

子育て世帯が増えることは、複式学級の防止、労働力不足の解消、消費の促進、税収の増加など、本町にとって最大の活力になると思うし、多少不便な場所であっても、子育て世帯には大きな家や土地は魅力である。



▲栄の町営住宅跡地

町で所有している土地もないわけではなく、例えば、最近解体している栄や中里の町営住宅跡地などは、比較的活用しやすいのではないかと思います。

インパクトのある値段で子育て世帯限定で売却あるいは貸し出せば、住宅費が高騰している昨今では、需要があると思うが、町有地、特に町営住宅跡地の活用方法について、どのように考えているか。

林町長

空き家、土地の情報に関しては、外国の方の情報収集力と資金力により、取得後は民泊施設に改修されることが多く、住居を探している方にとっては大変であると感じている。

町有地について、市街地区においては空いている土地もあるように見えるが、町民からの要望もあり、雪の堆積場として確保するなど、豪雪地域の特性を考慮しているところでもある。

各地区においては、公営住宅の解体跡地を含め、立地環境やインフラの状況など、売却にふさわしい土地かどうかの見極めや、用地確定による費用も考慮し、建築資材高騰などのタイミングも検討しながら進めていく。

子育て世代の増加による効果は十分に理解し、期待するところであり、私も空き家や空き地の活用は人口減少対策に有効な策の一つとして考えている。

売却物件の選定や実施時期は適宜判断していく。

表紙写真を
募集します。



あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

詳しくは議会事務局まで

定例会

6月16日

農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

越後議員

2名の推薦人は、農業従事者でなければいけないのか。

齊藤農業委員会事務局長

農業者でなくて大丈夫である。

越後議員

農業委員はどういう活動をするのか。

齊藤農業委員会事務局長

農地は、農業委員会の許可や、意見がないと基本的には売買できないし、地目変更もできない。

他には、作られていない農地を防ぐという業務や、農地を集約・集積していくということも業務である。

喜茂別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

菊地議員

管内の主食費の徴収状況を見ると、半数以上の町村が無償となっている。

近年、子育て支援が多く自治体の中で大きなウエイトを占めている状況を鑑みると、本町もこの際、無償化に踏み切るべきではないか。

近隣町村に比較して園児数も多い方ではなく、財政負担もそれほど大きくないことを考えれば、本町においても無償化は可能ではないか。

林町長

一般財源で給食費を全額負担することについては、他の行政サービスのバランスと応分の負担の原則から申して、慎重に判断することによって今回は考えた。

これからの状況により、無償化について、また再度検討してまいりたい。

菊地議員

今回、800円にしたのは評価するが、米の値段は下がってくることが予想される。

今後、管内の状況を見ながら、無償化に舵を切ってもらいたい、再度の答弁をいただきたい。

林町長

これから米の値段も下がっていくので、委託料についても、業者と検討していかないといけないと思っている。

来年以降で、また検討してまいりたい。

喜茂別町子ども医療費助成条例及び喜茂別町重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

阿部議員

重度心身障がい者にはどのような方が対象となるのか。

菅原住民課長

一級二級の身体障害者手帳を交付されている方、さらに三級の一部、心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫または肝臓機能障害の方となっている。

阿部議員

国は重度障害者にどのように対応しているのか。

菅原住民課長

国では特段18歳まで補助しなければならないというものはない。

各自治体それぞれで特色を生かして、子育て世帯などを呼び込む方策を行っている。

令和8年度喜茂別町一般会計補正予算第2回について

岩部議員

夏まつり実行委員会補助金が50万円増になっている理由を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

花火大会に対する企業からの寄付の公募で、夏まつりの企画を応募したところ決定した。

本久議員

夏まつり実行委員会補助金に関して、地方債から130万円ということだが、過疎計画に基づくものなのか、こういったところから出ている130万円なのか。

大元総務課長

新規就業促進事業が、当初、過疎対策事業債で、200万円を計上していたが、330万円充当できる見込みということで、今回130万円を財源振り返した。

小川議員

夏まつり実行委員会補助金の50万円は、花火の打ち上げ代にしか使えないという認識でいいのか。

井原まちづくり振興課長

花火大会等なので、夏まつりとか、イベント等である。

小川議員

企業のP R活動を行わないといけないとか、縛りはあるのか。

井原まちづくり振興課長

夏まつりの会場においてP Rも考えている。

山下議員

地域振興施設ヒートポンプ機器交換工事について、何年で交換するものなのか、ある程度想定された範囲内での交換の工事なのか。

井原まちづくり振興課長

数年前から不具合が生じ、毎年修繕で対応していたが、基盤も手に入らない状況であり、修繕ではもう限界だということで、このたび新たに交換する。

15年という経過年数で、メンテナンス等を踏まえ、維持管理に努めてまいりたい。

山下議員

物価等高騰対策事業費で、食品製造販売事業者経営継続支援金が50万円減となっているが、こういった経緯で減ったのか。

例えば食品製造販売事業者がいらないと言ってきたのか、あるいは、町で勝手に組み替えたのか。

食品製造販売事業者は補助金を当てにしていなかったのか。

井原まちづくり振興課長

町の方で、幅広く、できるだけ物価と燃油と状況を鑑みて、事業者支援の方を考えている。

申し訳ないが、食品製造部分を50万円減額させていただいて、給食運搬事業者の継続支援とか、廃棄物等収集・運搬事業とかの事業者支援が必要だという考えである。

本久議員

役場庁舎空調設備交換工事について詳細を伺いたい。

大元総務課長

現在の役場庁舎で設置されている空調機器、主に暖房になるが、平成21年度に当時の国の臨時交付金を活用して、役場庁舎1階と2階、それぞれ整備をしたが、不具合が生じてきており、入れ替えをしてくれている。

今回は、役場庁舎1階に4基あるうちの1基について交換する。

本久議員

暖房と冷房が効くのか。

大元総務課長

冷房並びに暖房に対応できるものに入れ替えをしていきたいと考えている。

本久議員

この1台で1階の冷房は賄えるものか。

大元総務課長

1階全ての冷房を賄うという考えではない。

越後議員

町立診療所の200万円の交通費補助金は、本来指定管理費の中でやっていただくという認識であるが、致し方ないという考えでよろしいか。

林町長

昨年、院長が大病を患ったということで、なかなか自分で千歳空港から来られず、副院長においては、冬の間に事故を起こし、また鹿などに2回ぶつかった。

私の考えとしては、全部含め、院長には、5000万円が限度だと言っているが、この200万円を負担しても、まだ達していない。

本久議員

200万円に、タクシーの利用も含まれているが、タクシー利用がなければ、半額ぐらいで収まると思う。

クリニックの職員とか、町内在住者の運転手を基本として、タクシー利用を原則ない方がいいと思うがどうか。

菊地保健福祉課長

今、クリニックでは、数名の方と、雇用契約を結んでおり、基本的にはその方を中心ということでお願いしている。

ただ、一般の町民なので、冬季間のリスクは同様と考えていて、町民皆さんの安全を確保するという意味でも、悪天候の時は、高額ではあるが、タクシーの利用をお願いしますというところでの制度設計等をしている。

臨時会 4月24日

財産の取得について（給食運搬車）

越後議員

給食運搬車は、令和8年度購入だが、令和9年度からこの機械を使って動くという形になるのか。

秋山教育次長

納入期限については令和9年3月31日となっている。

期限内に納入になると令和9年度からの開始と考えているが、納入期限が伸びるようであればまた議会の方に図っていきたい。

林町長

答弁のとおり、来年の3月31日までとなっているが、今いろいろな部品がないということで、それが限度ということであり、早く納入されれば、令和8年度中にすぐ入れ替える形で考えている。

越後議員

1109万980円、この金額は、これで確定ということでしょうか。

秋山教育次長

入札を行っているので基本的には変動はないと思うが、今後、今こういう世界情勢なので変わる可能性もなきにしもあらずだが、基本的には今のままでと考えている。

財産の取得について（システムサーバー機器・ネットワーク機器）

小川議員

取得金額5124万9000円に対して5年間で支払うという話だったが、利息はどれぐらいになるのか。

井原まちづくり振興課長

合計200万円になる。

令和8年度喜茂別町一般会計補正予算（第1回）について

本久議員

強い農業づくり事業（構造転換）補助金の詳細を伺う。

齊藤農林課長

国の補助事業で、5年間の集中対策の事業で、農業経営体、農業者が農業機械を買う30パーセント分を補助する事業である。

臨時会 6月29日

令和8年度喜茂別町一般会計補正予算（第3回）について

菊地議員

農林業費の生産地基盤パワーアップ事業の補助金の詳細について説明を求める。

齊藤農林課長

町として馬鈴薯生産をどのように振興するか計画を立て、農業者の方が参加する事業で、農業機械を導入する経費に対して、国が2分の1を助成するというものである。

今回は、9名の農業経営体の方が参加して、それぞれに必要な農業機械を導入する。

山下議員

水道料金等減免事業補助金について、国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金がかかるので行う事業だと思っていたが、今回、ふるさと応援基金からも、半分程度、繰り入れている。

もともとふるさと応援基金から繰り入れる予定だったのか、それとも別の理由で繰り入れることになったのか。

林町長

物価高騰が一向に収まらない状況になっており、これからどれだけ住民生活に影響があるかわからない状況にある。

そのため、国の物価高騰対応臨時交付金を活用して、当初予算で上下水道の基本料金を4月から8月まで減免させていただいた。

今回の国の追加交付金は、258万円で1ヶ月分しかできなかったもので、ふるさと納税を活用して、9月、10月と（水道料金減免事業）やって、10月の下旬からはプレミアム商品券が発売されるので、年間通して対策を行う形にさせていただいた。

議員研修

北海道町村議会議員研修会

7月2日、毎年恒例の北海道町村議会議長会主催の北海道町村議会議員研修会が札幌コンベンションセンターにて開催されました。



▲研修会

全道の町村議会議員が一堂に会し、二人の講師による講演に耳を傾けました。

一人目は、関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬稔氏による「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」と題した講演でした。

人口が増加した千葉県流山市、埼玉県戸田市、愛媛県西条市の事例や、京都市で空き家に対して税金を課す条例を制定したら、売買や賃貸が活発になった事例などの紹介がありました。

二人目は、テレビでおなじみのジャーナリスト須田慎一郎氏による「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」と題した講演でした。

高市首相との電話のやりとりや、デフレ下で行われていた経済活動の話などを時にユーモアを交えながら話されていました。

総務常任委員会

6月1日

中山峠観光施設の現況調査について

中山峠スキー場、中山峠高原ホテル、浄水施設、中山峠観光トイレ、道の駅望洋中山の現況を調査しました。



▲現況調査の様子

喜茂別町立クリニックの医師送迎補助金について

新千歳空港と本町を移動する際の送迎補助金200万円を予定していると説明あり

本久委員

副院長が冬季に重大な交通事故を経験したというのは、どんな事故だったのか。

菊地保健福祉課長

千歳空港から、夜に自走で本町に来る間、美笛峠の大きな連続する橋があるが、そこで1回転して、一歩間違えたら死の危険も想定されるぐらいの、かなり派手な事故だったので、もう冬期間運転はできないとなった。

本久委員

夏の期間運転はできるのか。

菊地保健福祉課長

運転すること自体に恐怖心を持っている。

越後委員

こういう補助をしている町村は他にあるか。

菊地保健福祉課長

私が知る限りはない。

越後委員

指定管理者を変える方がいいのかなと思ってしまいがいか。

菊地保健福祉課長

新しい体制をやるにしても、それなりの準備期間が必要なので、来年度は現行の体制をなんとか継続させていただいて、そのまま続けるのか、別の方向にするのか、検討を進めていきたい。

小川委員

使用する車は病院の車か。

菊地保健福祉課長

そう聞いている。

小川委員

事故が起きた場合は病院の自動車保険で対応する考えか。

菊地保健福祉課長

そのように考えている。

山下委員

6月議会で可決された後の補助金交付だが、遑って支払うことはないのか。

菊地保健福祉課長

あくまでも補助金の適用は交付の日からと

するので、今払っている部分は適用にはならないと考えている。

日下議長

病院に対する予算は総額いくらになるのか。

菊地保健福祉課長

指定管理料4500万円と、発熱外来の物品補助で70万円弱、機械の補修や清掃、施設管理など数十万円かかっている。

今回200万円なので、町長が以前から申し上げている、町として考える支出上限の5000万円に、限りなく迫っている。

日下議長

もし予算計上しないとしたら、指定管理はこの年度中に終わるのか、それとも来年の3月までやってもらう契約になっているのか。

菊地保健福祉課長

今回の予算が成立するしないにかかわらず、今年度はやっていただくが、来年度はおそらくやっていただけないだろうと感じている。

日下議長

もし指定管理満了した時にどうするか色々シミュレーションされているのか。

菊地保健福祉課長

来年度以降、医療空白がないように今、物事を考えて進めている。

日下議長

本来、職員が送迎するのが当然と思うが、あえて今回別立てにするのは、どういう理由があるのか。

菊地保健福祉課長

今の職員の中では、院長、副院長と同等のリスクがあるので、今回は外部の業務委託という形をとったと聞いている。

ただ、外部委託といっても、町民がほとんどなので、運転リスクという意味では、同じと思うので、冬になってくると、タクシーの費用も見込んで計上している。

日下議長

もし違うところと、新たな指定管理を結ぶ時にも、最初からこういうの見込まなきゃならなくなると思うが、そこまで考えた上での今回の予算計上なのか。

菊地保健福祉課長

今は、東京の法人で、二拠点で往復というかなり稀有なケースだが、今後は、その辺のコストも踏まえて、いろいろ相対的に考えていかなくてはいけないと考えている。

保育所主食の提供に係る条例改正等について

主食費を月額1890円から800円に変更すると説明あり

菊地委員

管内18町村のうち有料が7町村で、そのうちニセコ町は人口がプラスになっているが、本町は減っているので、子育て支援はもっと充実しなければと思う。

無償にしてもいいのではないか。

確かに本町の財政は決して明るいものではないが、今どこに金を使ったらいいのかという部分については、やはり子育てにお金をかけないと。

400人も500人もいるなら、多少財政のことがあろうが、わずか40人ちょっとなら無償化は、検討する材料ではないかと思っている。

河田副町長

自宅で育てている人は食料費は、家計の中で支えていると考えた時に、平等という考え方も一方にあると感じている。

菊地委員

ほとんど保育所に入っているという感覚で、先ほどの質問はさせていただいたが、保育所に入っていない人の分析はしているか。

小熊保育所長

保育所を利用していないのは、令和8年度は1名、去年、一昨年は2名である。

月	日	行 事	出席者	場 所
5	2 2	後志町村議会議員研修・交流事業	議 長	余市町・仁木町
	2 5	喜茂別町交通安全推進委員会定期総会	議 長	
		喜茂別町防犯協会通常総会	議 長	
	2 6	全国町村議長会主催 議長・副議長研修会	正副議長	東京都
	2 7	後志総合開発期成会 小樽・後志要望	議 長	小樽市・倶知安町
	2 9	後志総合開発期成会 北海道要望	議 長	札幌市
	3 0	喜茂別中学校 体育祭	各議員	
	3 1	令和8年度喜茂別消防春季消防演習	全議員	
6	1	総務常任委員会	全委員	
		意見交換会「議会と町民のおしゃべりナイト」	全議員	
		鈴木道知事 なおみちカフェ 中山峠	議 長	
	4～5	後志総合開発期成会 懇談会・中央要望	議 長	東京都
	5	羊蹄山ろく消防組合 第2回臨時会	組合議員	倶知安町
	6	喜茂別小学校 運動会	全議員	
	7	第11旅団創立80周年及び 真駒内駐屯地開庁72周年記念行事	議 長	札幌市
	9	後志町村議会議長 臨時総会	議 長	札幌市
		北海道町村議会議長会 定期総会・研修会	議 長	札幌市
		羊蹄山麓町村議会正副議長会 臨時総会	正副議長	札幌市
	1 0	議会運営委員会	全委員	
	1 2	きもべつ観光協会 定時社員総会	議 長	
	1 6	第2回定例会	全議員	
	2 0	保育所運動会	全議員	
	2 1	倶知安駐屯地創立71周年記念行事	議 長	倶知安町
	2 9	第4回臨時会	全議員	
		経済常任委員会	全委員	
7	2	北海道町村議会議長会主催 議員研修	全議員	札幌市
	7	議会広報編集委員会	各委員	
	13～15	羊蹄山麓町村議会正副議長会道外研修	議長・総務副委員長	東京都・静岡県



編集後記

7月2日に札幌で北海道町村議会議員研修会がありました。
「人口維持を目指す実践事例」というテーマで関東学院大学の牧瀬稔教授の講演でした。

人口減少は避けられない現実であり、人口減少下でも持続可能な地域づくりが重要である。地域の実情に即した判断が必要である。誰に、何をどこまで届けるかを絞る覚悟が必要であるとのことで、とても良い講演でした。

将来を見据えた投資が地方創生には必要であり、喜茂別町の特色を生かしたまちづくりに、今後も取り組んでいきたいと思います。

暑い日が続きますが、こまめな水分補給で、熱中症を防ぎましょう。

議会広報編集委員 岩部 剛